

みずほCustomer Desk Report 2017/05/02 号(As of 2017/05/01)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.50 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.31	1.0906	121.41	0.9944	1.2933	0.7484
SYD-NY High	111.93	1.0923	122.08	0.9966	1.2955	0.7540
SYD-NY Low	111.20	1.0884	121.37	0.9929	1.2883	0.7468
NY 5:00 PM	111.85	1.0899	121.94	0.9961	1.2884	0.7527
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.285/8.685		△25RR	0.865	Yen Call Over	
NY DOW	20,913.46	▲ 27.05	債券市場	日本2年債	-0.2060	0.3bp
NASDAQ	6,091.60	44.00		日本10年債	0.0140	▲0.4bp
S&P	2,388.33	4.13		米国2年債	1.2739	1.2bp
日経平均	19,310.52	113.78		米国5年債	1.8405	2.6bp
TOPIX	1,539.77	7.97		米国10年債	2.3180	3.8bp
シカゴ日経先物	19,365	130.00		独10年債	0.3170	-
ロンドンFT	-	-		英10年債	1.0850	-
DAX	-	-		豪10年債	2.5750	-
ハンセン指数	-	-		為替市況	USD/CNH	▲ 0.0010
上海総合	-	-		ドルインデックス	99.08	0.03
USDJPY 3M Vol	9.12	0.07%	商品市況	CRB指数	181.589	▲0.14
USDJPY 6M Vol	9.33	0.02%		NY金	1,255.50	▲12.80
EURJPY 3M Vol	9.79	0.02%		WTI	48.84	▲0.49
EURJPY 6M Vol	9.74	▲0.03%		Dubai Spot	-	-

東京	4月29日の北朝鮮による弾道ミサイル発射報道等から朝方のドル円は円買い優勢の展開となり一時111.20まで下落した後、111.31レベルでオープン。仲値にかけてドル買い優勢の展開となり111円台半ばまで上昇。米上下両院が歳出法案で暫定合意したことが伝わるとドル買いが強まり一時111.75まで上昇した。その後は特段の新規材料のない中、狭いレンジ内での推移が続いたが、引けにかけて再びドル買いが強まり一時111.90まで上昇した後、111.86レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	休場
ニューヨーク	米上下両院が歳出法案で暫定合意し政府機関閉鎖が回避されたことを受けドル買いが強まったことから、海外市場のドル円は111.91まで上昇し111.72レベルでNYオープン。午前中発表された経済指標では米3月個人消費や米4月ISM製造業景況指数などが市場予想を下回る結果となり、また米3月PCEデフレ率も前年比+1.8%とインフレ目標2.0%を再び下回ったことを受け、米金利低下を背景にドル円は安値111.43まで下落。その後、ムニューシン米財務長官の「超長期債、米国にとって完全に合理的」との発言を受けて、米50年債が発行される可能性に対し期待が高まったことから、米金利が急騰する動きにドル円も切り返し、高値111.93まで上昇。トランプ大統領による「米大手銀行の分割を前向きに検討」とのヘッドラインが伝わると、米株急落と共に111.64まで急落する局面もあったものの、米企業決算を受けた楽観ムードにサポートされ、米株が切り返す動きに(ナスダックは史上最高値を更新)、ドル円も反発。111.80近辺で底堅く推移した後、111.85レベルでクロスした。一方ロンドンは1.0906レベルでNYオープン。欧州市場休場のなか目新しい材料もなく、ドル主体の小幅なレンジ推移に終始。冴えない米指標を背景とするドル売りに高値1.0923まで上昇した後、米金利反発を背景にしたドル買いに安値1.0897まで下落し、1.0899レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 西谷・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	米	Event	結果	予想
5月1日	20:45	米	ムニューシン米財務長官 講演	-	-
	21:30	米	PCEコアデフレーター (前月比/前年比)	3月 -0.1%/1.6%	-0.1%/1.6%
	21:30	米	個人所得/個人支出(前月比)	3月 0.2%/0.0%	0.3%/0.2%
	22:45	米	マークイット製造業PMI・確報	4月 52.8	52.8
	23:00	米	ISM製造業景況指数	4月 54.8	56.5

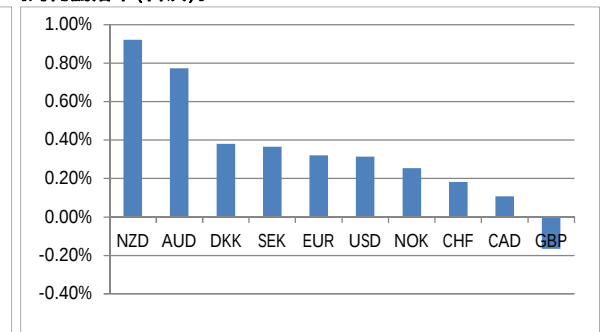
【本日の予定】

Date	Time	日	Event	予想	前回
5月2日	08:50	日	日銀議事要旨(3/15・16開催分)	-	-
	10:45	中	Caixin製造業PMI	4月 51.3	51.2
	13:30	豪	RBAキャッシュレート	5月 1.50%	1.50%
	17:00	欧	マークイット製造業PMI・確報	4月 56.8	56.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.40-112.40	1.0850-1.0950	120.70-121.70

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は底堅い展開となった。北米時間に発表された米3月個人所得/支出が市場予想を下回り、続けて発表されたISM製造業指数も予想比弱めの数字となったことで、ドル円は一時111.45近辺まで下落。しかしその後、ムニューシン米財務長官が「超長期債は米国にとって完全に合理的」と発言したことを受けて、長期金利を中心に米金利上昇する動きとなると、ドル円は111.93高値まで反発した。本日は引き続き底堅い展開を予想する。昨日1.1兆ドルの包括予算案が暫定合意され、9月末までは政府閉鎖が回避されたことでリスクセンチメントが改善している状況。明日以降、FOMC・米4月雇用統計等々、重要イベントが相次ぐ為、大きな値幅を伴った値動きは控えられると思われるものの、底堅い推移を基本線に見ていきたい。上値目途として112円が意識されるところであり、同水準を上抜けた場合はやや上方向に走る可能性には留意したいところ。